

和温療法学会誌投稿規定

2023年12月26日改訂版

1. 和温療法学会の学術誌である和温療法学会誌 (The Journal of Waon Therapy) の原稿は、和温療法ならびにそれと関連ある領域の原著、短報、総説、症例報告、Editorial, Letter to the editor, その他とする。
2. 本誌への投稿は、原則として共著者も含め、本学会会員に限るが、例外として、本学会会員の推薦により、投稿料を支払うことで、会員以外でも投稿することができる。また、編集委員長が必要と認めた場合には、会員以外にも投稿を依頼することがある。
3. 原稿は和文または英文のいずれかとする。英文はすべてネイティブの校閲を受けて投稿すること。
4. ヒトを対象にした研究では、原則として所属機関の倫理委員会などの審査を受け、被験者の同意を取得した上で実施されたものでなければならない。動物を対象とした研究は、実験動物の管理及び利用に関して所属機関等の動物実験指針に準拠して実施されたものでなければならない。以上に該当する研究論文では、このことを方法の項に記載するものとする。研究するときに倫理審査機関がない場合、当学会の倫理委員会で事前に審査を受けること。
5. 臨床試験は、臨床試験登録公開制度システム (UMIN-CTR <https://www.umin.ac.jp/ctr/index-j.htm> など) に登録すること。
6. 利益相反に係わる事項に関しては、該当事項がない場合も含めて、論文表紙に記載すること。
7. 掲載論文の著作権は本学会に帰属する。
8. 投稿論文の掲載の採否は編集委員会が行う。査読により字句の訂正、削除、あるいは追加データを求めることがある。
9. 投稿論文は原則として通常広く使用される Word を用いて作成したものを、電子メールで編集委員会宛に送信する。Microsoft PowerPoints や Excel で作成した図やグラフは PDF 形式や画像ファイルに変換し、写真等の作成形式は品質の高い編集可能なファイル形式 (jpg など) で提供する。不鮮明なものや形式に合わないものは不採用、あるいは差し替えを求める。提出されたものは返却しない。

<投稿論文送付先・問い合わせ先>

〒890-0054 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1
鹿児島大学医学部保健学科 宮田昌明
和温療法学会 出版・編集委員会
Tel. 099-275-6742 Fax. 099-275-6742
E-mail: miyatam@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp

10. 投稿原稿の構成

投稿原稿は以下の順序で作成し、以下の (3) ~ (8) は下段欄外に通し番号を付ける。

(1) 投稿依頼文：簡単な依頼文と共に、投稿の種類 (原著、短報、Letter to the editor 等)、筆頭者の所属名、所属

所在地、電話・Fax・E-mail アドレス、氏名を明記する。投稿者は、希望する査読者候補 3 名以内とその連絡先 (所属、電子メールアドレス) を、投稿時に編集委員会に知らせることができる。ただし、最終的な査読者の選定は編集委員会が行う。

(2) 投稿承諾書：別紙に、投稿承諾書と表題を記し、下記の文に筆頭者が署名、捺印する。

「下記の論文を和温療法学会誌 (The Journal of Waon Therapy) に投稿いたします。また、共著者を含む全員が、本論文は他誌に掲載済み、あるいは掲載予定のものでないことを誓います。掲載後の本論文の著作権は和温療法学会に帰属するが、発表者もしくは発表者の所属機関に限り、掲載内容を自由に使用することができる。また、著者全員が本論文の内容に同意し、本学会誌に投稿することを承諾します。本論文についての法的、経済的、倫理的責任は著者の帰属することも承諾します。」

筆頭者の所属名、筆頭者の氏名 (署名、捺印)、論文題目、共著者各人の所属名、氏名 (署名、捺印)、西暦 年 月 日 提出。

(3) 論文題目、著者と共著者の所属、氏名、連絡先 (氏名、住所、電話、Fax、E-mail アドレス)

(4) 抄録 (和文 800 字、英文 400 word 以内) と 5 個以内の和文と英文 Key Words

(5) 本文：和文は 1 行 35 字前後、A4 の 1 ページ 32 行前後、英文は Double Space で作成する。また適切な見出し、あるいは項目番号を付け、大きい順に I, II…… 1. 2.……1), 2)……a), b) ……とする。

(6) 引用文献：原著、短報では主要なもの 30 編以内とする。原則として雑誌は学術誌で査読システムのあるものとし、学会抄録は避ける。

(7) 和文論文の英文抄録：英文の題目、著者ローマ字名、英文所属、英文 Abstract (400 words 以内)、5 個以内の英文 Key Words, Corresponding Author (ローマ字氏名、英文所属)

英文論文の和文抄録：和文の題目、著者名、所属名、和文抄録、キーワード、共著者各人 (氏名、所属名、所属所在地)、著者連絡先 (氏名、所属名、所属所在地、電話、E-mail アドレス)

(8) 図表の説明

図の説明は、図の表題、説明を別紙に記載する。表は上に表題、下に説明を記載する。図 1,2……, 表 1,2…… Fig. 1,2……, Table 1,2……と明示して簡単なタイトルとそれで内容が理解できる説明を付ける。

11. 学術用語は和文、英文のいずれかの場合でも、一般に認められた用語を用い、特殊な用語を避ける。

12. 文中の外国語の固有名詞、化学物質名は、原語で記す。ただし、和文の場合、日本語化したものはカタカナを用いる。外国語の文頭はすべて大文字、文章中では、固有

名詞，薬品名及び独語の名詞を除きすべて小文字とする。

13. 数字は，アラビア算用数字を用い，単位は Å, µm, mm, cm, ml, dl, l, ng, µg, mg, g, kg, ms, s(秒), min(分), h(時)，など，できるだけ国際単位系に従う。

14. 組織，標本写真などカラー印刷を希望する場合には，投稿の際に指定する。

この場合，カラー製版代も別途請求される。

15. 和温療法学会誌の略記は，和文は和温療法誌，英文略記は，J Waon Therapy とする。

16. 引用文献は，引用順に本文中の文書または著者名の右肩に番号・片括弧を付して，¹⁾，²⁾ ……のように記入し，本文末尾に引用順に下記要領で記載する。著者が3名以上のときははじめの3名まで記載し，あとは他，または et al. と略す。

英文論文で和文の引用文献は，原則として英文抄録のある学術誌とし，英文抄録のないものや単行本のタイトル・誌名の英文表記には格段の注意を払い，末尾に (in Japanese) と明示する。

引用文献記載例：著者名，論文名，誌名，出版年，巻数，始めのページと終わりのページ。

単行本の場合のみページ数を表す「p」を入れる。

1) 宮内孝浩，池田義之，宮田昌明，鄭 忠和. Heat shock protein を介した和温療法の不全心筋及び下肢虚血に対する効果. 日温気物医誌 2012; 75: 238-247.

2) 宮田昌明，鄭 忠和. 和温療法とは，心腎連関を識る p136-140, 文光堂，2008 年

3) Tei C, Horikiri Y, Park JC, et al. Acute hemodynamic improvement by thermal vasodilation in congestive heart failure. *Circulation* 1995; 91: 2582-2590.

4) Miyata M, Ohishi M, Tei C. Waon Therapy: effect of thermal stimuli on angiogenesis. *Therapeutic Angiogenesis*, p217-227, Springer, 2017

17. 著者校正は初校時のみとし，誤植の訂正に留める。

18. 掲載料は，本誌刷り上がり4頁まで20,000円とし，超過した分1頁につき10,000円(税込)を徴収する。ただし，カラー組版代などは実費を徴する。会員以外の著者，または共著者が含まれていれば，一人につき投稿料10,000円を追加徴収する。